

【題材名】 オンライン授業

【内 容】 社会科 北アメリカ州

【使用アプリ】 Meet、パワーポイント、ドキュメント、スライド、forms

【事例紹介】 本校では、Windowsタブレットを普段から教員に1人1台配布しており、授業やオンライン授業に活用しています。今回は、Meetで各家庭と繋ぎ、オンライン授業を行いました。プレゼンテーションをWindowsタブレットで配信し、生徒の様子はChromebookで見ながら、授業をする2台体制で行いました。また、教員へ配布しているヘッドホンもオンライン授業に使用しました。

Meetに入れない生徒へも対応できるように、クラスルームにプリント（ドキュメント）、スライド（スライド）、振り返りシート（forms）、授業の内容等を録画したものをアップしました。



【Windowsタブレット：プレゼンテーション、Chromebook：Meet】

【解 説】

成果：○55%がオンラインでも分かりやすかったと答えた。

○2台体制にすることで、生徒の表情を見ながら授業ができた。

○チャットを用いることで、相互のやりとりができた。

○挙手機能で発問に対する回答を求め、マイクをオンにして直接聞くことができた。

課題：▲数名通信環境の問題で見られない生徒がいた。

▲テストではオンライン授業で行った内容の定着が十分ではなかった。お互いオンライン授業に不慣れなことが原因と考えられる。

▲40%の生徒は対面授業の方が分かりやすいという結果だった。

【題材名】 個別のオンライン授業（特別支援学級）

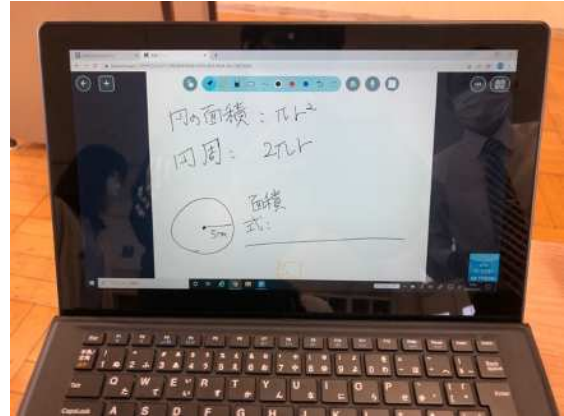
【内 容】 数学 円の面積

【使用アプリ】 Meet、ロイロノート

【事例紹介】 今回はWindowsタブレットを2台用いて、Meetとロイロノート（共有ノート）に入り、生徒の様子を見ながら個別で学習を行いました。

①ロイロノートを開く→共有ノートにする

②Meetに入る



【解 説】

成果： ロイロノートを共有ノートにし、問題を解き、間違ったところをすぐに確認しながら学習することができた。

課題： タイムラグが大きく、ロイロノートに書いた文字がなかなか出ない。
タッチペンがないと Chromebook に書き込むことが難しい。

（教育委員会主幹講評）2月に行った1人1台端末活用状況に関するアンケートでは、中学生で「毎日 Chromebook を持ち帰る」と回答した生徒は79.0%で、家庭での Chromebook の活用が進んできているのが伺えます。この事例のオンライン授業の回答は「良く使う、時々使う」を合わせて34.7%とあまり高くはありませんが、どの中学校でも非常時に備えてのオンライン授業の実証実験を行っており、この事例のように、分かりやすく授業を進めるため様々な工夫をされています。オンライン授業の回数を重ねるたびに生徒や教師のスキルも上がってきています。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、学びを止めないために各校で Chromebook の有効活用を図り、学習保障や個に応じた学びに対応していただきましたこと、先生方の力により GIGA スクール通信で多くの情報を共有できたことに深く感謝申し上げます。